



第386号 平成22年9月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 奥村正治

長期宿泊活動と自然体験活動

会長 奥村正治

平成20年1月に「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について」として中央教育審議会で答申された。「生きる力」の育成という教育理念のもと「体験活動の充実」という事で、集団宿泊活動（小学校）、職場体験（中学校）、奉仕体験活動や就業体験活動（高等学校）を重点的に推進すると提言されました。平成23年度より、全校でこの指導要領のもと長期（1週間程度）の宿泊活動が小学生で開始されます。平成20年度より、パイロット校を作り、長期集団宿泊活動ははじまり、年々宿泊活動をする学校が増えています。

体験活動の具体的な効果を8つほどあげてあります。

- ◎現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上
 - ◎問題発見や問題解決能力の育成
 - ◎思考や理解の基盤作り
 - ◎教科等の「知」の総合化と実践化
 - ◎自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得
 - ◎社会性や共に生きる力の育成
 - ◎豊かな人間性や価値観の形成
 - ◎基礎的な体力と心身の健康な保持増進
- 又、指導上の留意点としては、
- 体験活動における自分自身の行動や考えを深くふりかえる機会を設ける
 - 個人の興味や関心に応じて、体験を広く選択できる機会を設ける
 - 日常と異なる人間関係の中で他人と共同して行なう機会を設け、新たな人間関係を構築する機会をつくる。
 - 集団の状況や一人ひとりの性格に配慮しつつ、人前で自分を表現する機会を設定する
 - 今までにない体験により、挑戦の機会を作り、意欲的に取り組む支援をする
- となっています。

では、京都市ではどうか？ 私の知る範囲で様子を書いてみます。小学生5年生が野外活動の出来る所に出向きます。大半の学校は花背山の家とその近辺ですが、中には奈良県、福井県の方の京都以外の所に出かけている学校もあります。又、海をねらって日本海の方に出向いている学校もある様です。泊数は4泊5日を中心で22年度は残念ながら20校ほどが実行出来ていない様です。来年度23年度はこの20校も計画が実行され全小学校が長期（4泊）宿泊、自然体験活動が行なわれる予定となっていると伺っています。

参加の職員の方は、4泊中、2泊3日で交代という形を基本としている様ですが、全職員が交代となると問題ですので、役割にて決めておられる様であるので、学校学校によってその対応は様々の様です。

実際一組の男女に一人ずつ大学生のボランティアの人が、担任の先生以外にグループのまとめ役となっております。グループワークから見ると少子供達の人数は多すぎる様ですが、大学の教育学部の学生さんとすれば、これ又、ボランティアとは云え、ものすごく大きな体験となっている事でしょう。24時間子供達といっしょですので、かなり体力もいる事でしょう。

昨年と今年と私の校医の担当校が、4泊5日の宿泊活動を行っており、日数は少ないが顔を出したので思うままに書いてみます。小学校5年生が対象です。基本の場所は花背山の家です。山の家には養護の先生が常駐ですが、夜は不在です。又、学校の養護の先生の場合、全日数の半分を参加なされるそうなので、半分の夜は、養護不在となります。したがって小生は、この不在の期間の夜だけ参加と云う事になり、夕方の診療が終わって山の家へ、朝子供達の様子を伺って、7時前ぐらいに山の家を出

発という夜型のスケジュールでした。擦過傷程度の外傷、虫さされ、熱傷などでしたが、中にはホームシックによる頭痛、腹痛もありました。本来は医療面で参加という事ですが、夜の会（反省会や連絡会）にも参加し、又、キャンプファイヤーで子供達の話す内容等々から、いつも来院する子供ですが、普段ではみられない子供達の発言、行動を体験し、診療

の面でも少し子供達との会話が違って来た様に思います。学校での検診などではみられない点です。担任の先生はいつもそうでしょうか……。

遠方では不可能ですが、チャンスがあれば、校医の先生方も参加していただければ……。と思うところ です。

～京都市教育委員会事務局体育健康教育室の移転について～

京都市教育委員会 体育健康教育室 担当課長補佐(学校保健担当) 有澤 重誠

平素は子どもたちの健康の保持増進に多大なご支援・ご協力をいただきありがとうございます。また、9月以降も猛暑が続く中、子どもたちの健康管理にあたって何かとお世話になっております。さて、8月号でもお知らせいたしました、平成22年9月6日から当室の執務室が移転いたしました。当月号では、住所等詳細についてお知らせいたします。



まず、移転場所ですが、川端三条（京阪三条）から南に約100m下がっていただくと、左前方に若松通に面して校舎が見えます。

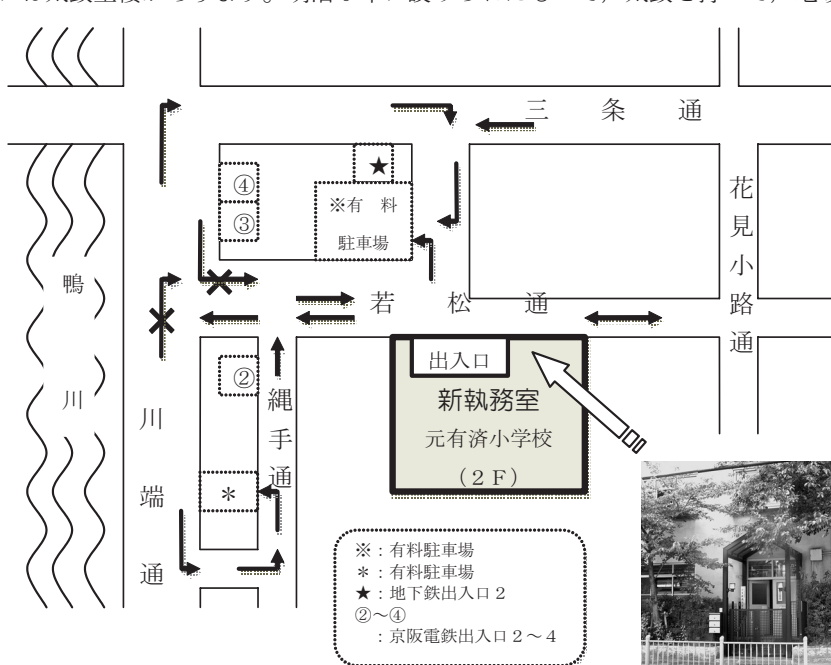
この校舎は元有濟小学校で、明治2年に下京第24番組小学校として設立され、平成17年に粟田小学校と統合されるまで135年という歴史を持つ学校です。建物は昭和11年からのもので、改修を重ね、現在に至っています。

統合以降は、地域行事や文化施設などで利用され、先日も新聞報道されましたが、京都子どもの音楽教室もこの7月まで利用しておりました。そして、この9月から、当室が執務室として2階を利用しております。

なお、この建物の屋上には太鼓望楼があります。明治9年に設けられたもので、太鼓を打って、地域の人々に時刻や火事を知らせていました。当時は珍しくありませんでしたが、今や日本の小学校で最後の望楼だそうです。

建物の出入口は、若松通に面した校舎北側にあります。周辺の地図は以下のとおりです。

地下鉄でお越しの場合は、改札口を出て右すぐの出口2(★)が、京阪電鉄でお越しの場合は、黄色の看板の出口2～4(②～④)が最寄りになります。



また、車でお越しの場合は、校舎正面に有料駐車場（※）がありますので、そちらをご利用ください。駐車台数は最大90台ですので、平日は十分駐車可能かと思えます。（平日10時～18時：40分200円）なお、川端通南行（北行）から若松通への左折（右折）はできませんので、ご注意ください。

また、縄手通沿いにも最大18台まで可能の有料駐車場（*）があります。（平日8時～24時：45分200円）



次に、入口を入っていただきますと、すぐ目の前に階段がありますので、2階へ上がってください。上がって左手が「安全・保健担当」と「給食担当」の執務室、右手が「体育担当」の執務室、小会議室、大会議室、トイレとなっています。

各執務室は、老朽化していたこともあり、改修を行っております。カーペットや冷暖房が完備され、移転前の御池ビルには至りませんが、車の騒音もほとんどなく、執務に専念できる環境になったと思います。

さて、移転作業ですが、課長の富田の強いリーダーシップと室全員の協力のもと、予想以上にスムーズに終わることができました。現在は、新しい執務室と倉庫の整理を行っています。新しい執務環境で心機一転、子どもたちに豊かな心と健やかな体を育み、たくましく生きるための資質や能力を育む学校保健の充実を引き続き図ってまいります。

<住所>

〒605-0004 東山区大和大路通三条下東入若松町393 元有済小学校内

<電話・FAX番号>

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ・学校安全・学校保健 | 電話番号 075-708-5321 |
| | FAX番号 075-551-9550 |
| ・学校体育 | 電話番号 075-708-5322 |
| | FAX番号 075-551-9551 |
| ・小学校給食、中・総合支援学校給食 | 電話番号 075-708-5323 |
| | FAX番号 075-551-9550 |

※フロア内で執務室が異なりますので、上記担当をご確認のうえご連絡願います。

退職挨拶

事務局 田中文

この度、関東への転居に伴い、京都市学校医会事務局を退職させていただくことになりました。

ご縁があって、平成19年5月からの3年5ヶ月に亘りお世話になりました。その間、何もかもが行き届かず失敗ばかりでご迷惑をお掛けし続けた私が何とか勤めさせていただくことが出来たのも、ひとえに理事の先生方を始め、皆様方の温かいご指導のおかげと、ただただ感謝の気持ちで一杯でございます。

退職にあたり、これまでの京都市学校医会での貴重な体験を振り返っております。まずは京都市学校医会創立100周年記念事業のお手伝いを無我夢中でさせていただきました。先生方が一連の事業を無事に終わられた時には、私なりに安堵感を味わったことを思い出します。この他にも色々な場面が思い起こされますが、1つ1つが大切な思い出となっております。このような歴史のある職場で、温かい上司に恵まれて勤務出来たことは本当に幸せだったと改めて感じております。京都市学校医会での経験を糧に、新しい土地で、生まれてくる新しい家族とともに頑張っていきます。

短い期間ではありましたが、これまで本当にありがとうございました。

第 5 回 常任理事会

平成22年9月4日
於 事務局

出席者 奥村会長、林・竹内副会長、井本専務理事、
藤田・福持・杉本各常任理事、長村監事、
佐野眼科学校医会副会長、星谷・鈴木各耳
鼻咽喉科専門医会理事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 8/3、8/17、8/31 各2名
2. 心臓相談 8/18 小4女兒 心室性期外収縮
3. 大学生にかかわる麻疹の取り組みについて
4. 体健室の移動について 9/6より京都市教育委員
会事務局体育健康教育室の執務室移転
5. 第62回指定都市学校保健協議会総務・経理部会
8/25
6. 学校給食巡視 衣笠小9/1 稲荷小9/6

<協議事項>

1. 平成22年度麻しん・風しん集団接種状況について
2. その他

<関連学会・各種協議>

1. 精神衛生研究会 9/9
2. 京都市学校保健会第2回表彰委員会談 9/14
竹内出席
3. 色覚相談 9/21、9/28
4. 第62回指定都市学校保健協議会第1回企画部会
9/21 奥村、井本出席
5. 京都市学校保健会健康教育シンポジウム事前打
ち合わせ会 9/28 杉本、井本出席
6. 京都市学校保健会第2回常務委員会、第62回指
定都市学校保健協議会第3回実行委員会 9/28
7. 京都市こころの健康増進センター思春期・青年
期精神保健ケースマネジメント事業運営検討会
議 9/28 杉本出席
8. 全理事会 10/2 5:30pm～ 於：キャレドミュー

京都府医師会指定学校医制度 単位取得研修会・講演会のお知らせ

第36回 京都医学会

開催日 平成22年9月26日(日) 午前9時～午後3時半
会場 京都府医師会館 (中京区壬生東高田町1-9 TEL 312-3671)
講演 口演演題 ポスターサロン (午前9時～11時50分) 学術賞・学術研鑽賞表彰 (12時～12時半)
特別講演 (12時半～1時半) 「幹細胞を用いた再生医療の現況と展望」
京都大学IPS細胞研究所分化誘導研究分野教授(副所長)、
京都大学再生医科学研究所組織再生応用分野教授 戸口田淳也 氏
シンポジウム (1時半～3時半)

府医学術講演会

開催日 平成22年10月16日(土) 午後2時～4時
会場 京都リサーチパーク 東地区1号館 サイエンスホール4F(下京区中堂寺南町 TEL322-7888)
講演 特別講演 「抗インフルエンザ薬による治療：新型、耐性型を含めて」
日本臨床内科医会インフルエンザ研究班、原土井病院臨床研究部 部長 池松 秀之 氏
「小児のインフルエンザ対策について」 名鉄病院予防センター 部長 宮津 光伸 氏

第10回 京都小児科医会感染症研究会

開催日 平成22年10月23日(土) 午後5時～7時
会場 ホテルグランヴィア京都 3F 源氏の間 (下京区烏丸塩小路下る TEL 344-8888)
講演 特別講演 「ロタウイルス感染症による疾病負担とワクチンによる制御」
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 感染免疫学講座分子疫学分野 教授 中込 治 氏